

中外炉工業

## 新型コロナ開発

## 独自方式で高生産性

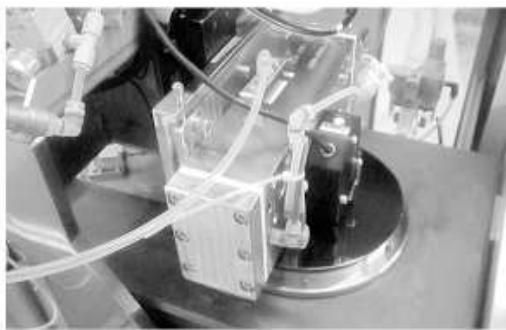
中外炉工業(株)（大阪市中  
央区平野町3-6-1、☎  
06-6221-1251）は、独自の塗布方式を  
採用した新型コーティー、「RSコーティー」を開発し  
た。既存のスピンドルコーティー

と比べて生産性に優れ、液ロスを抑制してコストを低減できる。半導体をはじめ、センサーや電池など様々な用途への展開を見込む。

と共同で円形基板を対象とした円コーターを開発した。実績がある。ウエハー上への液ロスのない塗布を特徴としていたが、処理時間がかかることが精度に限界があることが難点だった。

て、生産性を倍増し、液使用量を3分の1～4分の1に低減しながら、ほぼ同レベルの高精度を実現した。また、高粘度の塗布液に対応するとともに、100μm以上の圧膜塗布が可能だ。さらに、ガラスやフィルムなどの基材、四角形や楕円形といった異形状基板にも対応し、全面塗布だけでなくスプライトなど二層に応じた多彩な塗布ができる。

ピンコーラーの置き換えを狙う。また、様々な基材、形状の塗布が可能な特徴を生かし、半導体以外の分野への展開も図る。MEMS センサーやナノインプリントなどから引き合いを得て いるほか、全固体電池や燃料電池など電極塗布にもニーズを見込んでいる。<sup>21</sup> 22 年度には年 10 億円以上の受注獲得を目指して、採用拡大に取り組む。



ウ工ハ一に液漏れなく全  
面均一塗布が可能

コーターを商品化したのを皮切りに、スリットダイコートで約60年もの歴史を持つ。90年代以降にはディスプレイ分野にコーターを提供し、PDPやタッチセンサー、液晶カラーフィルター用で約340台の納入実績がある。現在はフレキシブル有機EL用ポリイミド塗布向けを主力とし、高シアを誇る。

開発したRSコートターは、ディスプレー向けで培つたスリットコート技術を応用。吐出幅を変えながら塗布していくことで、ウエハー上に均一な膜を形成できる。端面や裏面に液が漏れることができなく、液使用量を大幅に抑制するとともにスピンドルコートでは必須な洗净機構が不要でコスト低減、歩留まり向上に貢献す

た。さらに、ガラスやアルミなどの基材、四角形や楕円形といった異形状基板にも対応し、全面塗布だけでなくスプレイトなど二一  
ズに応じた多彩な塗布ができる。

一方、半導体向けでは0.2

る。

主なターゲットとし、FO